

1. 科目名 (単位数)	体育 (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL1303 EDEL2303
2. 授業担当教員	古俣 龍一		
4. 授業形態	・実技 (小学校体育における各領域から抜粋した運動) ・講義 (実技で取り扱えない領域および保健領域に関わるもの) ・ディスカッション (適宜グループで話し合いをし、より質の高い運動や演技を考える)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	2年次秋期の「体育科指導法」と密接な関連性をもつ授業であることを理解し修得することが望ましい。		
7. 講義概要	○本授業では、以下に提示された小学校体育に関わるおもな学習内容を知るとともに、教育現場において本講義で身に付けた知識・技能を十分に活用できるようにすることを目的としている。 ・小学校学習指導要領における体育の目標、内容をおおまかに捉え、小学校における体育の位置づけを理解する。さらに各領域におけるおもな運動を実技を通して経験することで、その運動特性を自身の身体で捉え、体育指導に必要な必要最低限の技能を身につけることができるようにする。 ・さまざまな子どもたちにおける個に応じた実技指導やその評価計画について理解することができるようにする。		
8. 学習目標	本講義を履修することによって以下の項目を達成することを期待する。 1. 今日までの小学校体育科授業の位置づけについて理解することができる。 2. 小学校体育科指導に際して各運動領域における必要最低限の基本的運動技能を身につけることができる。 3. 体育指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題1. 各領域の運動特性が子どもたちの成長にどのようにかかわっているのか簡潔に解説をする (ディスカッション)。 課題2. 各運動領域の基礎的な運動を実践する。(実技試験)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ・『小学校学習指導要領解説 (体育編)』現行および新解説書 ・必要に応じて適宜資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・各運動領域における基礎的・基本的な運動技能を身に付けることができる。(学習目標 2) ・体育指導を行う上での教師の留意事項及び基本的役割を身に付けることができる。(学習目標 3) ・関心意欲をもって授業に参加している。(関心・意欲・態度) ○評価の方法 ・成績評価については、授業への積極的参加度 (50%)、実技試験 (30%)、レポート課題 (20%) の結果を総合的に判断した。また、上記のほか、本学既定に定められている 3/4 以上の出席が単位取得の条件であることも配慮した。さらに外国人留学生については日本人とは同一の評価規準ではなく配慮した。		
12. 受講生へのメッセージ	<p>体育における各領域の中のさまざまな遊びや運動はどれをとっても子どもたちにとって重要な意味をもっています。</p> <p>子どもたちは校庭や体育館のような広いところを見ると早速、走り、遊び始めます。じつは、これは子どもたちがもっている本来の自然の姿であり、生理学的にも説明が可能です。そんな子どもたちの特性をしっかり把握し、各種運動の特性も捉えつつ、子どもたちが楽しく安全に運動できるような基礎的スキルを実技を通して学んでいきます。</p> <p>本講座はほとんどが実技です。実技の際には、必ず体育着で臨んでください。ジーパンは禁止です。また、体育館での運動は体育館シューズが必要です。これは運動をするに当たっての最も基本的な事項であり、将来、教育現場に携わる皆さんにとっては極めて常識的な指示であることをおさえてください。</p> <p>なお、本講座がある日の前日は睡眠を十分に確保し、また、当日の朝は食事をしっかりととり、体調を整えて臨んでください。毎時間、準備運動の一環として必ず持久走をします。</p> <p>注) なお、「対面・遠隔併用授業」が実施される場合においても、基本的には本授業内容に沿って進めていくものとしますが、予定している実技については、小学校体育に関連する理論的な講義を必要に応じて遠隔授業で実施できるよう変更する場合がありますことを理解しておいてください。また、「対面・遠隔併用授業」が行われた際には、15 コマのうち 3 コマ分を講義に代えて実技にかかわる課題を提示することを予定しています。その際は評価規準も一部変更になります。詳細は授業内で周知します。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (本講義の必要性や意義、今後の授業の流れ、授業の約束 等)	事前学習	本講義内容をシラバスにてあらかじめ把握し臨む。
		事後学習	本講義の意義や種々の約束ごとを理解する。体調管理に十分留意。
第 2 回	「集団行動」 <実技・理論> *集合、整列など学級経営上、体育の果たす役割の重要性を理解する。中でも、早期における基本的な集団行動の必要性を知る。また、準備・整理運動における役割にも注目させ、必要となるスキルを習得することができる。	事前学習	集団行動の必要性・重要性について考える
		事後学習	集団行動と学級指導は密接にかかわる部分があることを理解し、その指導の重要性を知る。
第 3 回	「鬼遊び」 <実技・理論・ディスカッション> *低学年でよく取り扱われる「鬼遊び」を実際に行い、	事前学習	各種鬼遊びをいくつか考え、用意する。
		事後学習	低学年で頻繁に取り扱われる鬼遊びの必要

	その特性を知り、質、量ともに、より、高度かつ楽しい鬼遊びを考えることができる。		性について理解する。
第4回	「器械運動」① <実技・理論・ディスカッション> *マット遊び・運動における数種の技の必要最低限のスキルを身につけ、お互いに教え合えることができる。 (実技試験あり)	事前学習	各種器械運動の種類を挙げられるようにする。①
		事後学習	用具の取り扱いについてしっかり指導できるようにする。
第5回	「陸上運動」① <実技・理論・ディスカッション> *障害走の特徴を知り、高学年のハードル走における跳び方の工夫について考え、より理想的な跳び方を習得することができる。	事前学習	障害走の系統性を理解する。
		事後学習	高学年におけるハードル走の特性をしっかり押さえる。
第6回	「表現運動」 <実技・理論・ディスカッション> *ある事象を表現することは体育の運動領域にとって重要な部分であり、これをグループで協力し合って発表する意義もまた子どもたちにとって必要であることを知ることができる。(実技試験あり)	事前学習	体育の学習指導要領における表現運動の歴史を調べる。
		事後学習	体育における表現運動の位置づけとその意義を理解する。
第7回	「ゲーム」① <実技・理論・ディスカッション> *ゴール型ゲームのひとつであるバスケットボールの特性を知り、ドリブル、シュート(ランニングシュート、ジャンプシュート)などの最低限のスキルを習得できるようにする。また、チームで作戦を立て、簡単なゲームをすることができる。(実技試験あり)	事前学習	発達段階に応じたゲームを自分なりに列挙できるようにする。①
		事後学習	ゲーム領域ではタイプの異なるゲームがあることを知る。
第8回	「器械運動」② <実技・理論・ディスカッション> *跳び箱の特性を知り、低学年から高学年で必要となる各種のスキルを身につけ、お互いに見合いながら演技することができる。(実技試験あり)	事前学習	各種器械運動の種類を挙げられるようにする。②
		事後学習	躓く児童に対してのサポートの実際を理解する。
第9回	「陸上運動」② <実技・理論・ディスカッション> *リレーにおける理想的なバトンの受け渡しの仕組みを理解し、チームで協力し合ってより質の高いレース展開をすることができる。	事前学習	走・跳の運動の系統性を理解する。
		事後学習	リレーに際しての指導の実際を理解する。
第10回	「水遊び・水泳」 <講義・理論・ディスカッション> *水泳指導に際してのおもな注意事項および教師が把握しておかなければならないスキルを理解し、事故のない指導を心がけるよう確認する。(後日、実技指導も計画することを伝える)	事前学習	児童における水遊び・水泳の利点について調べる。
		事後学習	水泳指導の基本的な順序を理解する。
第11回	「ゲーム」② <実技・理論・ディスカッション> *ベースボール型ゲームであるソフトボールを実際に体験し、チームで協力し合って、よりよいゲームにするための工夫をすることができる。	事前学習	発達段階に応じたゲームを自分なりに列挙できるようにする。②
		事後学習	ベースボール型ゲームの利点と問題点について理解する。
第12回	「保健学習」 <講義・理論・ディスカッション> *保健学習の新たな考え方や授業の進め方について理解し、現在現場で問題になっている事項を把握し、その解決に迫るための手立てを話し合うことができる。	事前学習	体育における保健学習の歴史を調べる。
		事後学習	小学校段階での保健学習の必要性・重要性を理解する。
第13回	「器械運動」③ <実技・理論・ディスカッション> *鉄棒の各種の技を紹介、各自治体で出された過去問などにも挑戦して「逆上がり」「前方支持回転」などの必要最低限の技ができる。(実技試験あり)	事前学習	各種器械運動の種類を挙げられるようにする。③
		事後学習	鉄棒のおもな技を系統的に理解する。
第14回	「各種スポーツ大会の考え方」 <実技・理論・ディスカッション> *スポーツ大会をみんなで計画し運営できる能力を養う。	事前学習	スポーツ大会の運営方法を考える
		事後学習	ひとつの大会を協力して行なうことの大切さを理解する。
第15回	まとめと評価<筆記> *本講義で既習した各領域における運動の特性や実施に当たっての注意事項が習得されているかに関する評価を行う。	事前学習	これまで学習してきた各領域における指導のポイントをまとめておく。
		事後学習	実際の現場でも応用できるよう指導のポイントをしっかり抑える。